

1 はじめに

私は3月1日から3月21日まで台湾師範大学で行われた春季中国語研修に参加しました。3週間と短い期間でしたが、充実した研修生活を送れました。

2 研修先での学習について

クラスは習熟度別で、事前に Web 上で行われるテストと台湾到着翌日に行われる10分の面接で決まります。私のクラスは日本人の大学生ばかりでしたが、他のクラスには社会人や外国人もいました。この研修中平日の午前はこの習熟度別クラスで授業を受けます。

授業の進め方はクラスによって違うようです。私のクラスは1コマ目に教科書で文法や語彙を学び、次のコマからはディスカッションやゲームなど実践を通して身につける形式で進められました。また授業の始めに、前日にどこへ行ったか、何を食べたかなど先生から質問されました。そこでわからなかった語句や文法を教えてもらえるので、教科書以上の知識が身につきました。リスニングに関して、始めは中国語を聞き取ることもできませんでしたが、1週間ほどで6、7割わかるようになりました。

文化体験や校外学習では、様々な選択肢の中から興味のあるものに参加できます。私は文化体験では太極拳、チャイニーズヨーヨー、カンフーを、校外学習では九份、淡水、十份を選択しました。文化体験はどれも初めての体験で面白かったですが、特にチャイニーズヨーヨーは二時間でも初歩的な技を習得できるのでおすすめです。また校外学習は、観光地の見とおくべきところを先生に案内してもらえるので予備知識がなくても楽しめます。九份は天気が安定しないので、雨具があると安心です。

3 生活環境について

首都大学東京の学生は台湾師範大学の寮に宿泊しました。シャワーやトイレは部屋についていますが食事が出ないので、大学の近くにある師大夜市や永康街で食べ物を調達します。師大夜市の「許記生籠包」という店の小籠包は安くて美味しいので是非食べてみてください。また部屋には冷蔵庫があるので、果物を買ってきて保管することも可能です。

公共交通機関の使い勝手がよく、地下鉄やバスが安い上に街中に張り巡らされているので気軽に観光地へ向かうことができます。

4 自由時間について

文化体験や校外学習のない平日の午後と休日は自由に行動することができるので、観光することができます。平日の午後は台北市内の観光地を回りました。特に良かったのは忠烈祠や中正紀念堂で見られる兵士の交代式で、一糸乱れぬ行進に感動しました。また、新北投の瀧乃湯では昭和天皇が皇太子時代に入った温泉に入れるので歴史を感じながら温泉を楽しむことができました。